

**【企業・団体名】 国立大学法人鹿児島大学**

代表者 : 学長 佐野 輝

事業内容 : 教育・研究

所在地 : 鹿児島市郡元一丁目21番地24号

従業員数 : 3,885 名(男性 1,891 名、女性 1,994 名)

イクボス宣言をしている場合、宣言者とその年月日: 佐野 輝 / 平成31年4月1日

**【会社の取り組み(過去1年間の取組をご記入下さい。)**

**①従業員の子育てをはじめとするワーク・ライフバランスに配慮した取組について**

・育児・介護休業法改正に伴い育児休業規則改正を行い、出生時育児休業や育児休業の分割取得の導入。  
・妊娠・出産(本人または配偶者)の申し出をした職員に対する育児休業取得の意向確認を実施。  
・非常勤職員の産前・産後休暇の有給化  
・出生サポート休暇(不妊治療に係る通院のための休暇)の新設。

**②業務効率を上げるための取組について**

新型コロナウイルスの終息後もライフワークバランスの充実、時間の計画的配分による効率的な業務遂行または災害等発生時における安全を確保した上での、業務継続等を目的としたテレワークを引き続き実施している。

**③取組のアピールポイントについて**

・出生時育児休業や育児休業の分割取得の導入【新規】  
・出生サポート休暇の新設【新規】

**【独自の取組】**

・特に管理職を対象とした男女共同参画にかかるトップセミナーを開催。  
・教職員のライフワークバランスを応援するため、大学として取り組む具体的な3項目を定めた「鹿児島大学サポート宣言」を制定。

**【これまでの実績】**

○育児休業取得者数:男性 20名、女性 88名(令和4年度)  
○育児部分休業取得者数:男性 0名、女性 69名(令和4年度)  
○超過勤務の状況:1人あたり平均 17時間(令和4年度)  
○保育支援制度利用状況:利用者 36名、利用回数 210回(令和4年度)

**【社員の声】**

上司や同僚の理解や積極的な協力もあり、育児休業を取得しやすい環境でした。2ヵ月半ほどの育児休業期間でしたが、妻と協力して2人体制で育児をできたことにより、お互いに心身に余裕をもって過ごすことができました。また、テレワーク環境も整っているので、育児休業からの復帰後も、在宅勤務を行いながら育児も行うことができ、大変ありがたく感じています。  
今回育児休業を取得したことにより、仕事と家庭(育児)の両立について改めて考える良い機会となりましたので、この経験をもとに、今度は自身が育児休業等を取得する方のサポートを積極的に行い、組織のライフワークバランス促進に寄与してきたいと思います。(育児休業取得・30代男性)

**【今後の取り組み・目標】**

特になし